

タイトル	日本語劇プロジェクト (1) 脚本を書く
目的 (この活動で何を するのか、何が できるよくなる のか。)	言語活動- 読む、書く 言語能力- 場面の描写、会話（セリフ）作成 その他 - 協働、チームワーク
レベル	CEFR A2-2、初級後半から中級
活動形式	演劇の場面の脚本（シナリオ）作成
活動形態	ペアか3-4人のグループワーク
準備	ブルックス文庫レベル2 劇の脚本の例（短いもの）
時間	50-60分のクラス2回
方法	このプロジェクトでは話しの一場面を選んでそれを劇の場面として実際に演じる事ができるように脚本（シナリオ）を書くという目標設定を説明する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. レベル2の話から「長靴をはいた猫」読み内容を理解する。 各自で読んだ後にグループで話し合っ、内容を理解するか、あるいは教室全体で読む。 2. 演劇する場面を一つ選ぶ。 3. その場面に登場する人物について人物描写する。 4. その場面の様子をト書きで描写する。 5. セリフを書く。 6.
バリエーション/ コメント	<ul style="list-style-type: none"> • 出来上がった脚本を実際に演じてみる。（読み合わせ） • 他のグループと交換して、意見を出し合う。 • 「牛若丸」五条大橋の場面もこの活動に適している。
作成者/作成年	穴井宰子 2013